

平成23年度における「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への反映等のための取組について」の報告概要

1. 東北地方太平洋沖地震（活断層、地震・地震動、津波）に係る情報

東北地方太平洋沖地震に係る情報については、現在も各種議論・検討がなされている状況を踏まえ、原子力事業者に通ずる「将来、耐震設計等への反映が必要となる可能性が高い情報」として取りまとめ、今後も継続的にこれらの知見の動向を注視し、必要に応じて原子力発電所の耐震安全性評価に反映する。

東北地方太平洋沖地震に係る新知見情報に関連する内容を含む文献数

新知見情報	文献数	
	プレート間で発生した巨大連動型地震	地震・地震動
津波		201
海溝型巨大地震の影響によって発生した新たな地震	活断層	88
	地震・地震動	37

2. 東北地方太平洋沖地震（活断層、地震・地震動、津波）以外の情報

上記以外の原子力事業者に通ずる情報（共通情報）及び、玄海・川内原子力発電所固有の情報（個別情報）については、「反映が必要な新知見情報」及び「新知見関連情報」はなかった。「参考情報」については、引き続き研究動向等を注視していくことを考えており、耐震安全性に係る信頼性の一層の向上に向けた取組を継続的に行う。

各分野における報告情報数（共通情報）

分野	反映が必要な新知見情報	新知見関連情報	参考情報
活断層	0	0	11
地盤	0	0	0
地震・地震動	0	0	4
建物・構築物	0	0	0
機器・配管系	0	0	14
土木構造物	0	0	2
津波	0	0	24
合計	0	0	55

玄海及び川内原子力発電所に関する個別情報数

発電所名	反映が必要な新知見情報	新知見関連情報	参考情報
玄海原子力発電所	0	0	2 ¹
川内原子力発電所	0	0	2 ²

1 活断層2件

2 活断層1件、地震・地震動1件

新知見情報：耐震安全性評価への反映が必要な新たな情報

新知見関連情報：耐震安全性評価の再評価が必要ない新たな情報

参考情報：現時点では新知見とは見なさないが、今後の研究動向等によっては、耐震安全性に対する信頼性や耐震裕度向上につながる情報

(例)・福岡県沖玄海灘における海底地形調査速報[海洋情報部研究報告](玄海個別)

・沿岸海域における活断層調査 布田川・日奈久断層帯/中部・南西部(海域部) 成果報告書[地震調査研究推進本部HP](川内個別)

以上